

早稲田 次世代 AI イノベーション・ エコシステム挑戦的研究プログラム (W-SPRING-AI)

【予約採用】 募集要項

【募集対象】

2025年4月1日時点で、本学大学院の正規生として在籍し、2026年4月に本学大学院の博士後期課程1年次または一貫制博士課程3年次に進学予定の者。

※詳細は本要項の「申請資格」を参照ください。なお、申請書ならびに事前登録フォームや本登録申請フォームの内容に誤りが認められた場合（例：申請時に記載した学年・入学時期等の情報が実際と異なるなど）、遑って支援を取り消すことがあるので注意してください。

※予約採用された場合、博士後期課程1年次または一貫制博士課程3年次に進学後に本採用（支援開始）となります。ただし、本採用時に支援対象資格を満たさない場合には予約採用は取り消しとなります。

目次

1. 趣旨・概要	2
2. 応募資格	3
3. 募集人数・支援期間	4
4. 研究奨励費等の内容	5
5. 支援対象学生の義務	6
6. 支援の停止・返還	6
7. 育成コンテンツ等の履修	7
8. 海外インターンシップへの参加（強く推奨）	9
9. 産学連携による研究もしくは企業インターンシップへの参加（推奨）	9
10. プログラム進捗報告	10
11. 応募方法	11
12. 選考について	12
13. 問合せ先	13

1. 趣旨・概要

早稲田大学（以下「本学」という）は、領域横断に AI イノベーションを生み出し続け、世界的な AI 技術・応用の研究をリードする博士人材の育成を目指した、次世代 AI イノベーション・エコシステムを実現する。

「早稲田次世代 AI イノベーション・エコシステム挑戦的研究プログラム（W-SPRING-AI）」（以下「本プログラム」という）は、日本の国家戦略分野に指定されている次世代 AI 分野を開拓・牽引する志と能力を持つ博士後期課程学生に対して、生活費相当額および研究費の両面から経済的支援を最大 3 年間行うことで、支援学生が同分野の研究を本格的に推進・先導し、リーディングサイエンティストに成長することをサポートするプログラムである。あわせて、育成コンテンツをはじめとする様々な支援により、支援学生が次世代 AI 分野に関する高度な専門性と研究遂行能力を身に付ける機会を提供する。

本プログラムが輩出した若手人材が、将来的には本学の世界に伍する研究大学への進化と次世代 AI 分野におけるイノベーション創出や日本の産業競争力強化に貢献することを期待する。

なお、本プログラムは、科学技術振興機構（以下「JST」という）が実施する国家戦略分野の若手研究者及び博士後期課程学生の育成事業「次世代 AI 人材育成プログラム」による支援を受け、本学の研究力強化本部に設置する「早稲田オープン・イノベーション・エコシステム挑戦的研究プログラム部会（W-SPRING 部会）」ならびに W-SPRING 部会内に設置する「早稲田次世代 AI 人材育成チーム」により運営されるものである。

2. 応募資格

応募者は、次世代 AI 分野の研究を本格的に推進・先導し、リーディングサイエンティストに成長することを希望し、かつ、同分野に関する高度な専門性と研究遂行能力を身に付けるため本プログラムが設ける育成コンテンツへの参画意欲があることを前提条件とする。その上で、以下の(1)～(6)の全てを満たし、かつ、(7)、(8)のいずれかを満たすこととする。

なお、本プログラム（予約採用）に採択となった学生は、2025 年 4 月以降に別途募集する「早稲田オープン・イノベーション・エコシステム挑戦的研究プログラム（以下「W-SPRING」という。）の予約採用への応募は不可とする。

- (1) 2025 年 4 月 1 日時点で本学大学院（修士課程、専門職学位課程、一貫制博士課程）の正規生として在籍し、2026 年 4 月 1 日に本学大学院の博士後期課程 1 年次または一貫制博士課程 3 年次に進学予定の者。

※本学の各学部・研究科における「学部・修士 5 年一貫修了制度」や修士課程の早期修了制度等を利用して、2026 年 4 月 1 日に本学大学院の博士後期課程 1 年次へ進学を予定している者の申請も受け付ける。

なお、本募集要項における D1～D3 の表記と、博士後期課程・一貫制博士課程の各学年の対応関係は以下のとおりとする。

	博士後期課程	一貫制博士課程
D1	1 年	3 年
D2	2 年	4 年
D3	3 年	5 年

- (2) 現在の研究テーマが、次世代 AI 分野（AI 分野および AI 分野における新興・融合領域）に該当し、かつ当該分野の研究を本格的に推進・先導するリーディングサイエンティストとなる意思がある者。

主な研究テーマの事例
次世代AIアルゴリズム、次世代AIエージェント、汎用AI、量子AI、生成AI、基盤・大規模言語モデル、AI・機械学習工学、AIセキュリティ・セーフティ、人・社会・AIアラインメント、AIサステナビリティ（環境AI、バイオAI、グリーンAIほか）、AIデジタルトランスフォーメーション（言語処理AI、画像処理AI、メディア・通信AI、音声・対話AI、ロボットAIほか）など

- (3) 将来的に日本におけるイノベーション創出と産業競争力強化に貢献する意思のある者。
(4) 本プログラムで掲げる各種育成コンテンツの受講意思がある者。
(5) 応募時点における指導教員が、本プログラムで求める要件に基づき推薦する者。
(6) 研究倫理に関する研修（APRIN e-ラーニングプログラム(eAPRIN)「責任ある研究行為」）を受講済みあるいは、研究費の支給が開始するまでに受講する者。※受講方法等は、採用後に改めてお知らせいたします。
(7) 日本国籍を有する者、特別永住者、または出入国管理及び難民認定法の別表第二に規定される在留資格（永住者、定住者、日本人（永住者）の配偶者・子）を有する者。
(8) 「留学」の在留資格を持ち、正規の課程に在籍している私費外国人留学生である者。

なお、予約採用された場合、D1 に進学後の 2026 年 4 月 1 日に本採用（支援開始）となる。ただし、本採用後に以下に該当する者は、予約採用およびその後の支援は取消とする。

- 日本学術振興会（JSPS）特別研究員
- 助手、研究助手
- W-SPRING 支援対象学生
- 支援期間中、所属する大学や企業等から、生活費相当額として十分な水準(税込 240 万円/年)で、給与・役員報酬等の安定的な収入※を得ていると認められる学生。
※「安定的な収入」とは、正社員としての給与、ベンチャー企業の役員報酬、非常勤講師給等の固定的な収入を指す。有償のインターンシップ、TA、RA やアルバイト等の収入、および研究費としての支援は「安定的な収入」に

含まない。

- 国費外国人留学生制度、日本政府による奨学金（JICA 留学生を含む）等、本国からの奨学金等の支援を受ける留学生

奨学金を受給中または受給予定の学生も本プログラムへの申請は可能であるが、D1 に進学した時点で受給する奨学金によっては、本プログラムの支援が開始された際に、奨学金の採用取消や交付済み奨学金の返金を求められる可能性があることを了承のうえ申請を行うこと。

（注1）民間団体・地方公共団体等の奨学金を受給中または受給予定の学生はあらかじめ団体に条件を確認することが望ましい。

（注2）独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）の学習奨励費（給付型）との併給は不可。

独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）の奨学金（貸与型）との併給は可能。ただし、令和5年以降の同奨学金第一種奨学生については、本プログラムの支援を受ける場合、大学院博士課程における「特に優れた業績による返還免除候補者」の推薦対象外となる。

（注3）大学院博士後期課程研究者養成奨学金（学内奨学金）の申請を検討している場合は、所得制限等の取り扱いについて、以下 Web サイトにある募集要項を確認すること。

<https://www.waseda.jp/inst/scholarship/aid/programs/doctoral-students/ay2023/>

3. 募集人数・支援期間

本採用時（支援開始時）の状態		募集人数	支援期間 （最大）
学年※	在学期間		
D1	0.0年（2026年4月入学）	2名程度	2026年4月1日～ 2029年3月31日

※上記在学期間の（ ）内は、博士後期課程進学後に休学をしていない学生の例示。博士後期課程進学後、休・留学等を取得したことにより、上記の在学期間の取扱いが不明な場合は、「13.問合わせ」に記載の W-SPRING-AI 事務局へ問い合わせること。

※ 支援開始後に休学により在学しない期間が生じた場合、その期間は支援を中断する。ただし、支援中断による支援期間延長は行わない。

支援期間はD3の標準修業年限終了時までとする。ただし、支援期間中に日本学術振興会の特別研究員や本学助手に採用された場合等、本プログラムの支援要件を満たさなくなった者は、要件を満たさなくなった時点において支援打ち切りとする。

なお支援期間中の支援枠については、JSTが本学の取組状況等を踏まえ毎年度検討するため、結果として支援期間の短縮や支援金額の減額がなされる可能性がある。

4. 研究奨励費等の内容

研究奨励費等（生活費相当額^{※1}、研究費^{※2}）の内容は、以下の通りとする。

研究奨励費等の内容
年間 390 万円（生活費相当額 300 万円＋研究費 90 万円）

※1 「生活費相当額」については、税法上「雑所得」として扱われるので、所得税や住民税の課税対象となり、毎年確定申告の手続きが必要となる。また、健康保険や扶養手当等における扶養の扱いも関係することから、応募の際には、扶養者（親等）によく相談すること。

※2 「研究費」は公的研究資金の扱いとなり、学内手続き上は原則として科学研究費助成事業（「科研費」）に準ずる。具体的な手続きは「研究費執行マニュアル」に従うこと。ただし、用途等については本プログラム用に別途定めることがある。

○研究費執行マニュアル

<https://waseda-research-portal.jp/how-to-use/research-expenses-execution/>

(1) 支援期間・給付金額

本募集における採択者の支援期間および給付金額は以下のとおりである。なお、支援停止要件に該当した場合は支援期間が短くなる場合がある。

また、留学生のうち支援開始時に来日できずに日本国以外で教育・研究活動を実施している者は、来日までの期間は研究奨励費等の給付を受けることができない。来日後は、本プログラムの支援が継続されていることを前提として、日本国に滞在している期間に応じて研究奨励費（生活費相当額）を受給できる。研究奨励費（研究費）は、給付金額の給付を受けることを前提とするが、来日時期によって、給付金額を減額することがある。

(支援開始時)		研究奨励費等	2026 年		2027 年		2028 年	
学年	在学期間		春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
D1	0.0 年	生活費相当額	300 万円		300 万円		300 万円	
		研究費	90 万円		90 万円		90 万円	

(2) 研究奨励費等（生活費相当額、研究費）の支給時期

研究奨励費等（生活費相当額、研究費）の支給時期は以下のとおりとする。

生活費相当額	1 か月に 1 度、25 万円を大学に届出の学生本人名義口座（日本国内のみ）に振込。
研究費	1 年度に 1 度、90 万円を一括配付。

5. 支援対象学生の義務

- (1) 本プログラムが指定する育成コンテンツを修得すること。
- (2) D1・D2 終了時に実施する中間審査、ならびに D3 終了時に実施する最終審査を受けること。
- (3) AI 関連研究機関への中長期の海外インターンシップへ参加を強く推奨する。
- (4) AI 関連の産学連携による研究または企業インターンシップへの参加を推奨する。
- (5) 各年度末に「プログラム進捗報告書」を定められた様式に沿って作成し、提出すること。これとともに D3 学生は、支援最終学期に実施するプログラム成果報告会に参加すること。
- (6) 博士号取得後には、産業界においてイノベーション創出に挑戦することを強く意識して研究活動すること。
- (7) 大学から求められた場合には、本プログラムの広報活動に、研究活動に支障のない範囲で協力すること。
- (8) 本プログラム期間終了後の各種調査に協力すること。本プログラムは、JST が実施する国家戦略分野の若手研究者及び博士後期課程学生の育成事業「次世代 AI 人材育成プログラム」の補助の下に実施するため、終了時から 10 年程度、就職等の現況調査を行う可能性がある。
- (9) 本プログラムで指定する研究倫理教育 (eAPRIN) を受講・合格した上で、研究上の不正行為、研究費の不正使用を行わないこと。
- (10) 研究費を支給して自立的に研究を進めることから、知的財産の扱いなどに関して別に定める書類等に同意すること。
- (11) その他、本学が必要と定めた事項に従うこと。
- (12) 令和 9 年度 (2027 年度) 日本学術振興会 (JSPS) 特別研究員 (DC2) に応募することを推奨する。また、日本学術振興会特別研究員 (DC 2) に採択された場合は、本プログラムの支援対象者から外れ、日本学術振興会特別研究員として活動することを推奨する。
※特別研究員採用期間中は、他の身分 (例：報酬の有無にかかわらず、会社その他の団体の役員になることや、自ら営利企業を営むこと等) を持つことはできないため、起業を検討している場合等は留意すること。

※上記は、本採用後 (2026 年 4 月 1 日からの支援開始後) の義務であり、予約採用期間中 (予約採用決定後から 2026 年 3 月 31 日までの本学修士課程在籍時) は制約を受けることはない。

※ただし、予約採用期間中に令和 8 年度 (2026 年度) 日本学術振興会 (JSPS) 特別研究員 (DC 1) に応募することを推奨する。また、令和 8 年度 (2026 年度) 日本学術振興会 (JSPS) 特別研究員 (DC 1) に採択された場合は、本予約採用による支援対象者から外れ、日本学術振興会特別研究員として活動することを推奨する。

6. 支援の停止・返還

次のいずれかに該当する場合は、研究奨励費等の支給を停止する。また、予約採用期間中に以下の (1) (2)

- (3) (4) (7) (9) に該当する事実が確認された場合は、予約採用を取り消す。
- (1) 退学等により本学に在籍しなくなったとき。
- (2) 休学により、本学に在学しない期間が生じたとき (休学期間における支給を中断する)。
- (3) 懲戒による停学処分を受けたとき。
- (4) 研究における不正行為、研究費の不正使用等の行為があったとき。
- (5) 本プログラム登録後の義務を怠ったものと判断されたとき。
- (6) D1・D2 終了時に実施する中間審査および各年度末の「プログラム進捗報告書」による経過審査により、進捗が著しく不十分であると判断されたとき。
- (7) 応募資格を満たさない事実があったとき、また採択後に資格を満たさなくなったとき。
- (8) 留学生のうち、来日できずに、日本国以外で教育・研究活動を実施しているとき。ただし、本プログラムで課している海外インターンシップでの活動を展開している場合は除く。
- (9) 上記(1)~(8)のほか、本プログラムの支援対象学生として適当でない事実があったとき。

支給中断や停止の事由により受給資格がないにもかかわらず支給を受けた研究奨励費等があるときは、その支給を受けた金額のうち受給資格がないものとされる部分の金額を本学に返還することとする（学費未納抹籍により遡って学籍が末梢されるケース等を含む）。

7. 育成コンテンツ等の履修

(1)方針

本プログラムによる支援を受ける学生は、次世代 AI 分野を開拓・牽引するリーディングサイエンティストとして必要となる、理論から工学・応用までを領域横断的に網羅する「専門性」、生成 AI に代表される目覚ましい次世代の AI 技術や応用の方向性を捉え次世代 AI 分野を開拓する「先進性」、AI が将来にわたって社会および産業の基盤となる中で、その様々な領域におけるコースや課題を捉え革新的な技術や応用を生み出す「展開性」を身に付けるため、プログラムで用意する育成コンテンツ等を履修する。

なお、全学生共通の必修コンテンツに加え、支援学生の専門分野と現状の知識レベル（AI 技術・応用を専門とする学生、次世代 AI 分野の牽引を目指し他分野を専門とする学生）に応じた推奨コンテンツを用意することで、3年間の支援を通じて、全学生が等しく必要な素養を身に付けることを目指す。

また、各学生のキャリアプラン等に応じて、本プログラムと同様に JST の博士支援事業による支援を受けて本学で実施している「早稲田オープン・イノベーション・エコシステム挑戦的研究プログラム（W-SPRING）」で設定する「アントレプレナーシップおよびコミュニケーション・プレゼンテーション能力」関連科目についても、任意での受講を可能とする（科目登録が必須となるため、以下「（2）要件」でその方法を確認すること）。

＜育成コンテンツ等を含むプログラム全体像（イメージ図 ※）＞

支援対象者における必須項目					
博士3年秋	最終審査				
博士3年春	次世代AI研究・論文執筆				
博士2年秋	W-SPRING キャリア開発・育成 コンテンツ	スマートエスイー AI関連科目	データ科学 関連科目 (データ科学認定 制度 上級対象科 目)	海外インターン	中間審査2
博士2年春			スマートエスイー チーム実習	研究	
博士1年秋			データ科学 関連科目 (データ科学認定 制度 中級対象科 目)	次世代AI演習 (サマースクール等)	中間審査1
博士1年春			次世代AI特論	産学連携ほか研究	

※ 春学期入学生をモデルケースとしたイメージ図であり、コンテンツ履修時期は必須履修スケジュールではない。

(2)要件

現時点における育成コンテンツは下表の通りだが、予約採用者については、本採用（支援開始）期間開始前に改めて内容を通達する。「①必修コンテンツ」については、支援期間中に必ず履修すること。

①必修コンテンツ【全学生対象】

No.	コンテンツ名	概要	履修方法・期間・条件
1	次世代 AI 特論	学内教員・外部有識者による講座（非正規科目）を受講することで、次世代 AI の理論や仕組み、展望の徹底習得を目指す。	支援決定後に案内する。

2	次世代 AI 演習	本プログラムで認定する演習（サマースクール等、非正規科目）に参加することで、次世代 AI の実践に関する徹底習得を目指す。 対象演習については、別途案内する。	支援決定後に案内する。
3	データ科学認定制度科目（中級対象科目） （※ 2）	指定される大学院生共通設置科目（正規科目）を受講することで、データサイエンスを自身の専門的な研究や仕事に活用できる（自身の専門分野の研究にデータ科学を活用できる）レベルを目指す。	・大学院生共通設置科目の科目登録期間中に、各自ウェブ科目登録システム上で科目登録を行う。 ・GEC が提供する「データ科学関連科目」のうち、「データ科学認定制度」の中級対象科目から選択して 3 単位（C I 群の中から 2 単位かつ C 群全体で 3 単位）の取得を必要要件とする。なお、「データ科学認定制度」の「中級」の認定を受けることを推奨する。

②-1 推奨コンテンツ A【全学生対象】

No.	コンテンツ名	概要	履修方法・期間
4	W-SPRING 科目 （※ 1）	指定される大学院生共通設置科目（正規科目）を受講することで、博士人材が将来多様なキャリアパスで活躍するために必要なコンピテンシーのうち、特に必要となる「アントレプレナーシップおよびコミュニケーション・プレゼンテーション能力」の習得を目指す。	大学院生共通設置科目の科目登録期間中に、各自ウェブ登録システム上で科目登録を行う。
5	データ科学関連科目（データ科学認定制度 上級対象科目） （※ 2）	指定される大学院生共通設置科目（正規科目）を受講することで、データサイエンスを主な仕事にすることもできる（自身の専門分野以外の分野においてもデータ科学を活用できる）レベルを目指す。	大学院生共通設置科目の科目登録期間中に、各自ウェブ科目登録システム上で科目登録を行う。
6	スマートエスイーチーム実習 （※ 3）	指定される異分野社会人とのチーム実習講座（非正規科目）を受講することで、異分野や新興・融合領域に関する知識・経験を身に付けることを目指す。	支援決定後に案内する。

②-2 推奨コンテンツ B【次世代 AI 分野の牽引を目指し他分野を専門とする学生対象】

No.	コンテンツ名	概要	履修方法・期間
7	スマートエスイー AI 関連科目 （※ 3）	指定される科目（非正規科目）を受講することで、次世代 AI の基礎知識を補完することを目指す。	支援決定後に案内する。

（※ 1） W-SPRING 科目について

以下より、対象科目および科目登録方法を確認すること。

- グローバルエデュケーションセンター設置科目の科目登録ガイド（「大学院生共通設置科目」部分を参照）
URL: <https://www.waseda.jp/inst/gec/graduate/registration/>
- 対象科目（以下 WEB サイト内の W-SPRING 募集要項を参照）
URL: <https://dpt-wspring.w.waseda.jp/application>

(※ 2) データ科学認定制度対象科目について

以下より、対象科目および科目登録方法を確認すること。

- グローバルエデュケーションセンター設置科目の科目登録ガイド（「大学院生開放科目」部分を参照）

URL: <https://www.waseda.jp/inst/gec/graduate/registration/>

- 対象科目（データ科学認定制度：6 ページ目を参照）

URL: <https://waseda.app.box.com/s/aw0exl8wsiunq45lguch7n71k3untx9n>

※上級科目のうち、「データ科学総合演習」については、履修定員の関係で、受講が認められない可能性があります。

※現時点では、英語で履修できる科目が限られています。日本語による科目履修が難しい方の履修要件につきましては、本プログラム採択後に改めてご案内いたします。

(※ 3) スマートエスイーAI 関連科目について

以下より、スマートエスイー（IoT/AI コース）の趣旨・概要等を確認すること。なお、受講対象科目および受講方法については、別途案内する指示に従うこと。

- スマートエスイー（IoT/AI コース）ウェブサイト

URL: https://www.waseda.jp/inst/smartse/curriculum_iot-ai

8. 海外インターンシップへの参加（強く推奨）

(1)方針

本プログラムによる支援を受ける学生が国際的に活躍するために、支援期間中に、海外の AI 関連研究機関等において中長期の海外インターンシップに参加することを強く奨励する。

なお、インターンシップ参加にあたっては、参加先の機関等を含め、指導教員と相談した上で決定すること。

(2)要件

プログラム名	概要・要件
海外インターンシップへの参加（強く推奨）	インターンシップへ参加した場合には、プログラム進捗報告書でインターンシップの状況について報告すること。

9. 産学連携による研究もしくは企業インターンシップへの参加（推奨）

(1)方針

本プログラムによる支援を受ける学生が産業界等で幅広く活躍するために、支援期間中に、AI 関連の産学連携による研究もしくは企業インターンシップへ参加することを推奨する。

なお、企業インターンシップについては、国が実施する「ジョブ型研究インターンシップ」を活用することを推奨する。

※参考：ジョブ型研究インターンシップ概要

資料①<https://waseda.box.com/s/7anabpazz22clz3r1mcxhb5zvp8nizo8>

資料②<https://waseda.box.com/s/x2vw340r7yg2b0stgagygnp0bv7jox7g>

(2)要件

プログラム名	概要・要件
AI 関連の産学連携による研究もしくは企業インターンシップへの参加	インターンシップへ参加した場合には、プログラム進捗報告書でインターンシップの状況について報告すること。

10. プログラム進捗報告

(1) プログラム進捗報告書の提出

以下書類の提出により、1年に1度プログラムの進捗報告を行う。

● 提出書類

① プログラム進捗報告書

②①に関連する各種根拠書類（成績証明書、産学連携研究、海外インターンシップ、企業インターンシップに参加したことを示す書類等）

● 提出時期（予定）

以下の期限までに上記の提出書類を提出する。

4月入学者：支援年の翌年3月15日までに提出

9月入学者：支援年の翌年9月15日までに提出

(2) プログラム成果報告会の実施

D3 学生時の支援最終学期にプログラム成果報告会を実施する（予定）。

(3) 中間審査および最終審査の実施

本プログラムの支援対象学生の研究内容・進捗状況等に応じて、次世代 AI の世界レベルにおける先進性と領域横断性を確保するため、早稲田次世代 AI 人材育成チームの研究者・実務家（所属研究室の指導教員以外）からの研究指導を行うため、D1, D2 終了時の中間審査、D3 終了時の最終審査を行う（予定）。

11. 応募方法

※応募書類提出の前に※

以下の申請フォームより、申請の事前登録を行うこと。

事前登録フォーム：<https://bit.ly/3PJ8Lha>

事前登録期間：2025年1月30日（木）9時～2025年2月10日（月）17時

上記の事前登録を済ませた上で、下記のとおり応募すること。

(1) 応募期間

2025年1月30日（木）9時～2025年2月13日（木）12時

(2) 応募書類

- 応募書類（申請書）および応募時点における指導教員の推薦書は、以下の Web サイトからダウンロードすること。
URL（日）：<https://www.waseda.jp/inst/research/wspring-ai>
URL（英）：<https://www.waseda.jp/inst/research/en/wspring-ai>
なお、申請に際しては事前に応募時点における指導教員に相談し、承認を得た上で、応募すること。また、応募時点における指導教員の推薦状が必須となるため、余裕を持って指導教員に推薦書の作成および提出を依頼すること。
- 応募時点における指導教員は、推薦書に記載された以下の項目に従って、推薦書を作成すること。
 - 応募する学生のこれまでの研究実施状況と、博士後期課程 1 年次または一貫制博士後期課程 3 年次への進学を見据えた次世代 AI 分野研究の指導計画
 - 本プログラムで推奨する海外インターンシップ、産学連携による研究もしくは企業インターンシップ活動に対する指導方針
 - 将来的な日本におけるイノベーション創出と次世代 AI 分野研究を推進・先導するリーディングサイエンティストとなることを期待されているプログラム趣旨に基づき、博士後期課程修了後も見据えた応募する学生への期待

(3) 申請手続き

【応募する学生が行う手続き】

- 応募する学生は、以下 Web サイト内の申請フォームより必要事項を入力し、「(2) 応募書類（申請書）」を PDF 化し申請すること。
URL（日）：<https://www.waseda.jp/inst/research/wspring-ai>
URL（英）：<https://www.waseda.jp/inst/research/en/wspring-ai>
- ファイル名は以下のとおり、英数字で記載すること。
申請書：学年_学籍番号_氏名
例) M2_9999999_Waseda Taro.pdf
学年は、2025年4月1日時点の情報で、下表のとおり記載すること。

表記学年	修士課程／専門職学位課程	一貫制博士課程
M2	2年	2年
M1	1年	1年

【応募時点における指導教員が行う手続き】

- 応募時点における指導教員は、以下 Web サイト内の申請フォームより必要事項を入力し、「応募時点における指導教員の推薦書」を PDF 化し申請すること。
URL（日）：<https://www.waseda.jp/inst/research/wspring-ai>
URL（英）：<https://www.waseda.jp/inst/research/en/wspring-ai>
- ファイル名は以下のとおり、英数字で記載すること。
推薦書：応募学生の学年（2025年4月1日時点）_応募学生の学籍番号_応募学生氏名_指導教員氏名
例) M2_99999999_Waseda Taro_Okuma Taro.pdf

学年は、2025年4月1日時点の情報で、下表のとおり記載すること。

表記学年	修士課程／専門職学位課程	一貫制博士課程
M2	2年	2年
M1	1年	1年

(4)留意事項

●所定のページ数を必ず守ること。

- 一度提出した申請書類の変更は認めない。必要書類が揃っていない等の不備があった場合も同様とし、そのまま審査を行う。また、一度提出した申請書類の返却も行わない。
- 申請時に収集した個人情報については、審査実施、合格者発表、登録手続きおよびこれに付随する業務のためだけに使用する。その際、当該個人情報の漏洩・流出・不正使用等がないよう、必要かつ適切な管理をそれぞれ行う。また上記業務の全部又は一部を委託する場合がある。その場合は、委託先に対し契約等により、必要かつ適切な管理を義務付ける。
- 書面審査・面接審査にあたっては、多様な専門分野の審査員が審査することから、理解しやすいよう分かりやすい表現で記載・発表を行うこと。

(5)本事業に関する質問がある場合

- 本事業に関する質問がある場合は、以下の問い合わせフォームから申請すること。

問い合わせフォーム URL : <https://bit.ly/4cPGEr3>

12. 選考について

(1)選考方法

選考は、書面審査と面接審査（Zoom で実施予定）の二段階で実施し、総合的に判定する。面接審査は、書面審査通過者を対象として実施する。

なお、面接審査は1名につき6分（時間厳守）の持ち時間で実施する。面接審査では、自身の研究における次世代 AI の定義や位置づけを明確にした上で、「研究の社会的意義」および「将来計画」を中心に、「研究方法・スケジュールの妥当性」、「研究の特色・独創性・挑戦性」、「次世代 AI 研究としての先進性・社会や様々な領域に対する展開性の展望」等も含め、必ず時間内で説明が完了するよう、資料（PowerPoint 等）を準備すること（応募書類（英）を提出の場合は、原則として面接審査も英語により実施）。

(2)選考スケジュール

	実施期間	備考
事前登録	2025年1月30日（木）9時 ～2月10日（月）17時	応募者は必ず事前登録を行うこと。
申請受付	2025年1月30日（木）9時 ～2月13日（木）12時	—
書面審査	2025年2月中旬	メールで書面審査の採否および面接審査の日時を以下の日時に通知する： 2025年2月25日（火）または2月26日（水）
面接審査 （Zoom）	2025年2月28日（金） 14時～17時	メールで面接審査の採否結果を通知する： 2025年3月21日（金）以降 ※審査スケジュールの関係上、変動する可能性がある。面接内容は、審査に使用するため本学にて録画する。 ※通知した面接審査日時の変更は、いかなる理由であっても受け付けない。

登録手続き	2025年3月下旬～	面接審査で不採択となった者に対して、補欠採用を行うことがある。 提出期限等は別途案内する。
支援開始	2026年4月1日(火) 予定	研究費の使用開始※発注開始可能
	2026年4月末予定	4月分の生活費相当額の振込 研究費の配布・経理処理開始

13. 問合せ先

W-SPRING-AI 事務局

URL : <https://bit.ly/4cPGEr3>

以上